


様式第9号（第7条関係）



平成31年 4月22日

朝日町議会議長 殿

会派名 自民クラブ

代表者名 小野仁士 

平成30年度政務活動費に係る収支報告について

（平成30年9月～平成31年3月分）

朝日町議会政務活動費の交付に関する条例第11条第1項の規定により、別紙のとおり平成30年度政務活動費収支報告書（平成30年9月～平成31年3月分）を提出します。

平成30年度政務活動費収支報告書
(平成30年9月～平成31年3月分)

会派名 自民クラブ

1 収入

政務活動費 420,000 円

2 支出

(単位：円)

項目	支出額	備考
調査研究費	433,296	11/6～8 長崎県大村市、福岡県みやま市、福岡県柳川市、佐賀県佐賀市視察調査
研修費		
会議費		
資料作成費		
資料購入費		
広報・広聴費		
事務費		
人件費		
その他の会派活動費		
合計	433,296	

3 残余

0 円

(注) 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

領収証等添付用紙

平成 30 年度

会派名: 自民クラブ

会派名	自民クラブ	整理番号	/	領収証番号	①
支出項目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研 修 費 <input type="checkbox"/> 会 議 費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 事 務 費 <input type="checkbox"/> 人 件 費 <input type="checkbox"/> その他の会派活動費				
支出金額	8,640 円	支出年月日	平成 30 年 11 月 6 日		
支出内容	手土産代 袋入せんべい 4個 (@2,160円 x 4個)				
備 考					
領収証等添付欄	※領収証は重ならないように添付すること。				

2018年11月 6日(火)

領 収 証

自民クラブ様

¥8,640-

現金

(消費税等

¥8,640-

¥640-を含みます)

上記正に領収しました

富山空港ターミナルビル株式会社
富山県富山市秋ヶ島30番地
TEL 076-495-3157



*保管上のお願い
財布等で保管戴く場合、印刷面を内側に折って保管願います。

0102-0825-

2018年11月 6日(火) 6:43 No:0102

030130袋入有磯せ
単2,160× 4個 内 ¥8,640

小 計		¥8,640
外税2 対象額	8.00%	¥8,640
外税2	8.00%	¥640
合 計		¥8,640
(内消費税等)		¥640)

※ 備考欄には、支出金額を按分率で算出した場合等の根拠を記入すること。

※ 領収証添付欄には、領収証及び金額の内容を証する書類を添付すること。

責No:00000002:責02

取引No5265 4点買

領収証等添付用紙

平成 30 年度

会派名: 自民クラブ

会派名	自民クラブ	整理番号	/	領収証番号	②
支出項目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 事務費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> その他の会派活動費				
支出金額	7,350 円	支出年月日	平成 30 年 11 月 6 日		
支出内容	1/6 昼食代				
備考					

領収証等添付欄

※領収証は重ならないように添付すること。

2018年11月 6日(火)


領 収 証

自民クラブ様

¥ 7,350 -

預/現計 ¥7,350
 (消費税等 544円を含みます)

但し、御飲食代として
 長崎空港ビルディング株式会社 レストラン エアポート
 〒856-0816
 長崎県大村市箕島町593番地
 TEL: 0957-52-5554
 * 財布等で保管頂く場合、印紙面で内側に折って保管願います。

担当者 
 0201-2401

※ 備考欄には、支出金額を按分率で算出した場合等の根拠を記入すること。

※ 領収証添付欄には、領収証及び金額の内容を証する書類を添付すること。

領収証等添付用紙

平成 30 年度

会派名: 自民クラブ

会派名	自民クラブ	整理番号	/	領収証番号	③
支出項目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 事務費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> その他の会派活動費				
支出金額	2,570 円	支出年月日	平成 30 年 11 月 6 日		
支出内容	11/6 高速道路料金 大村 ~ 鳥栖				
備考					

領収証等添付欄

※領収証は重ならないように添付すること。

ご利用ありがとうございます。



料金所では一旦停車してください。

領 収 書

料金所 鳥 栖

TEL 0942-85-3114

高速道路は便利でお得なETC
あなたもETCをつけてみませんか!

18年11月 6日17時44分

車種 普通

通行料金 ¥2,570-

(現金)

-入口料金所- 大村

道路損壊や故障車、落下物を発見したら...

道路緊急ダイヤル#9910へご連絡下さい

西日本高速道路株式会社

大阪府大阪市北区堂島1-6-20

取扱番号213-00421645-00

※ 備考欄には、支出金額を按分率で算出した場合等の根拠を記入すること。

※ 領収証添付欄には、領収証及び金額の内容を証する書類を添付すること。

領収証等添付用紙

平成 30 年度

会派名: 自民クラブ

会派名	自民クラブ	整理番号	/	領収証番号	④
支出項目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 事務費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> その他の会派活動費				
支出金額	2,970 円	支出年月日	平成 30 年 11 月 7 日		
支出内容	11/7 高速道路料金 鳥栖～みやま柳川 みやま柳川～太宰府 太宰府～水城				
備考					

領収証等添付欄

※領収証は重ならないように添付すること。

ご利用ありがとうございます。



料金所では一旦停車してください。

領 収 書

料金所 みやま柳川

TEL 0944-62-3880
 高速道路は便利でお得なETC
 あなたもETCをつけてみませんか!

18年11月 7日 9時21分
 車種 普通

通行料金 ¥980-
 (現金)

—入口料金所— 鳥栖第一
 道路損壊や故障車、落下物を発見したら・・・
 道路緊急ダイヤル#9910へご連絡下さい
 西日本高速道路株式会社
 大阪府大阪市北区堂島1-6-20
 取扱番号207-00330858-00

ご利用ありがとうございます。



料金所では一旦停車してください。

領 収 書

料金所 太宰府

TEL 092-925-1426
 高速道路は便利でお得なETC
 あなたもETCをつけてみませんか!

18年11月 7日15時56分
 車種 普通

通行料金 ¥1,370-
 (現金)

—入口料金所— みやま柳川
 道路損壊や故障車、落下物を発見したら・・・
 道路緊急ダイヤル#9910へご連絡下さい
 西日本高速道路株式会社
 大阪府大阪市北区堂島1-6-20
 取扱番号211-00041525-00

ご利用ありがとうございます。



福岡北九州高速道路公社

料金所では一旦停車してください。

料金所 水城

18年11月 7日
 17時12分 車種 普通
 通行料金 ¥620-
 現金 ¥620-

お問い合わせ先 (092) 631-0122

2144-01-0066

※ 備考欄には、支出金額を按分率で算出した場合等の根拠を記入すること。

※ 領収証添付欄には、領収証及び金額の内容を証する書類を添付すること。

領収証等添付用紙

平成 30 年度

会派名: 自民クラブ

会派名	自民クラブ	整理番号	/	領収証番号	⑤
支出項目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 事務費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> その他の会派活動費				
支出金額	9,900 円	支出年月日	平成 30 年 11 月 7 日		
支出内容	11/7 昼食代				
備考	上記のうち、7,800円を政務活動費の対象とする。				

領収証等添付欄

※領収証は重ならないように添付すること。

領収書番号: 12181107002200
12181107001900

2018年11月07日 (水) 12:36

領 収 書

自民クラブ様

¥9,900-

(消費税 ¥733- 含む)

但し お食事代 として上記の金額正に領収いたしました。

< 本票保管上のお願ひ >

財布等に入れ保管される場合、印字面を内側に折って保管して下さい。

みやまスマートエネルギー株式会社

TEL: 0944-85-8039

福岡県みやま市瀬高町小川15-1

※ 備考欄には、支出金額を按分率で算出した場合等の根拠を記入すること。

※ 領収証添付欄には、領収証及び金額の内容を証する書類を添付すること。

領収証等添付用紙

平成 30 年度

会派名: 自民クラブ

会派名	自民クラブ	整理番号	/	領収証番号	⑥		
支出項目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 事務費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> その他の会派活動費						
支出金額	1,600 円	支出年月日	平成 30 年 11 月 7 日				
支出内容	駐車場料金 11/7 宿泊ホテル (ベッセルイン博多中洲) 請求書 BILL						
備考	Name お名前 自民クラブ 様 No.094867-DP						
領収証等添付欄	ROOM NO. お部屋番号 605		PERSON. ご人数 6	ARRIVAL DATE. ご到着日 2018/11/07	DEPARTURE DATE. ご出発日 2018/11/08		
	DATE 日付	ROOM NO. お部屋番号	EXPLANATION ご明細	CHARGES ご料金	CREDIT お支払等	BALANCE 残高	
	18/11/07	605	駐車場	1,600		1,600	
発行: HHNOFPC03D 17:41:10 担当: ヌエ ニウイン CASH			TOTAL AMOUNT ご利用金額		1,600	0	1,600

(ご料金合計には消費税 ¥118 を含みます。)

ご署名
SIGNATURE

切り取り線

領収書
RECEIPT

No.094867-DP
日付: 2018/11/07

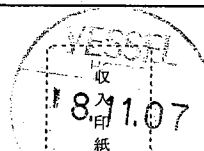


ベッセルイン博多中洲
VESSEL INN HAKATA NAKASU
〒810-0801
福岡市博多区中洲五丁目1番12号
5-1-12, Nakasu, Hakata-ku, Fukuoka, Fukuoka
TEL 092-271-4055 FAX 092-271-4050

※ 備考欄には、支出
※ 領収証添付欄に

領収書名 自民クラブ 様

ご請求額 AMOUNT DUE	¥1,600-
内消費税 TAX	¥118



現金	CASH	<input checked="" type="checkbox"/>
クレジット	CREDIT	<input type="checkbox"/>

税抜金額5万円以上は、収入
貼付。クレジットご利用は印
別表第1第17号文書に非該
ため印紙税は非課税です。

領収証等添付用紙

平成 30 年度

会派名: 自民クラブ

会派名	自民クラブ	整理番号	/	領収証番号	⑦
支出項目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 事務費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> その他の会派活動費				
支出金額	1,910 円	支出年月日	平成 30 年 11 月 8 日		
支出内容	11/8 高速道路料金 水城～築港 太宰府～佐賀大和				
備考					

領収証等添付欄

※領収証は重ならないように添付すること。

ご利用ありがとうございます。



福岡北九州高速道路公社

料金所では一旦停止してください。

料金所 築港

18年11月 8日

8時34分 車種 普通

通行料金 ¥620-

現金 ¥620-

お問い合わせ先 (092)631-0122

2036-01-0004

ご利用ありがとうございます。



料金所では一旦停車してください。

領 収 書

料金所 佐賀大和

TEL 0952-62-4380

高速道路は便利でお得なETC
あなたもETCをつけてみませんか!

18年11月 8日 9時21分

車種 普通

通行料金 ¥1,290-

(現金)

—入口料金所— 太宰府

道路損壊や故障車、落下物を発見したら...

道路緊急ダイヤル#9910へご連絡下さい

西日本高速道路株式会社

大阪府大阪市北区堂島1-6-20

取扱番号207-00840848-00

※ 備考欄には、支出金額を按分率で算出した場合等の根拠を記入すること。

※ 領収証添付欄には、領収証及び金額の内容を証する書類を添付すること。

領収証等添付用紙

平成 30 年度

会派名: 自民クラブ

会派名	自民クラブ	整理番号	/	領収証番号	⑧
支出項目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 事務費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> その他の会派活動費				
支出金額	8,280 円	支出年月日	平成 30 年 11 月 8 日		
支出内容	11/8 昼食代				
備考	上記のうち、7,800円と政務活動費の対象とする。				

領収証等添付欄

※領収証は重ならないように添付すること。

2018年11月 8日(木)

領 収 証

自民クラブ様

¥8,280-

(消費税等

613円を含みます)

但し、飲食代として
 昭和自動車株式会社 吉野ヶ里レストラン
 佐賀県神埼市吉野ヶ里町田手1843
 電話:0952-55-9205

担当者

* 財布等で保管戴く場合、印紙面で内側に折って保管願います。

0001-8366

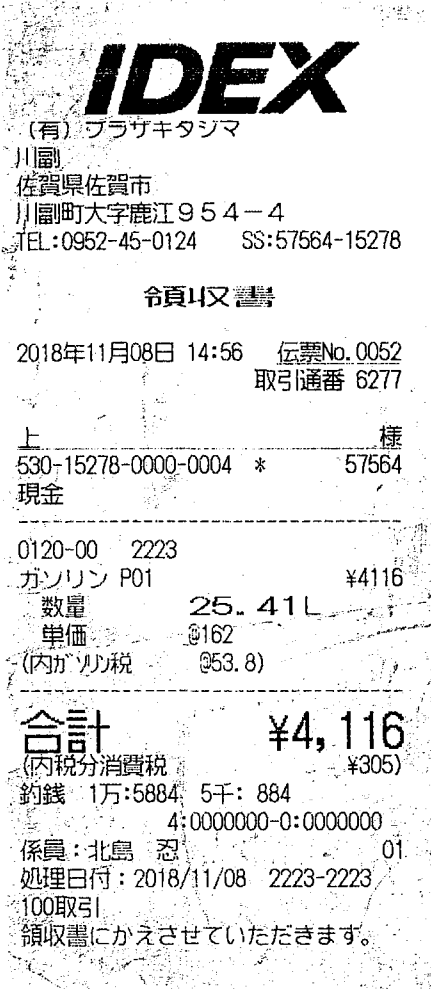
※ 備考欄には、支出金額を按分率で算出した場合等の根拠を記入すること。

※ 領収証添付欄には、領収証及び金額の内容を証する書類を添付すること。

領収証等添付用紙

平成 30 年度

会派名: 自民クラブ

会派名	自民クラブ	整理番号	/	領収証番号	⑨
支出項目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 事務費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> その他の会派活動費				
支出金額	4,116 円	支出年月日	平成 30 年 11 月 8 日		
支出内容	レンタカー ガソリン代				
備考					
領収証等添付欄	 <p> (有) ブラサキタジマ 川副 佐賀県佐賀市 川副町大字鹿江954-4 TEL:0952-45-0124 SS:57564-15278 領収書 2018年11月08日 14:56 伝票No.0052 取引通番 6277 上 様 530-15278-0000-0004 * 57564 現金 0120-00 2223 ガソリン P01 ¥4116 数量 25.41L 単価 @162 (内ガソリン税 @53.8) 合計 ¥4,116 (内税分消費税 ¥305) 釣銭 1万:5884 5千: 884 4:0000000-0:0000000 係員:北島 忍 01 処理日付:2018/11/08 2223-2223 100取引 領収書にかえさせていただきます。 </p>			※領収証は重ならないように添付すること。	

※ 備考欄には、支出金額を按分率で算出した場合等の根拠を記入すること。
 ※ 領収証添付欄には、領収証及び金額の内容を証する書類を添付すること。

領収証等添付用紙

平成 30 年度

会派名: 自民クラブ

会派名	自民クラブ	整理番号	/	領収証番号	⑩
支出項目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 事務費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> その他の会派活動費				
支出金額	388,540円	支出年月日	平成 30 年 11 月 30 日		
支出内容	・宿泊費 (11/6 ルートイン鳥栖駅前) ・宿泊費+往復飛行機セット (11/7 ハッセルイン博多中洲) ・レンタカー代 ・旅行会社企画手配手数料(保険料含む)				
備考	金額等明細は別紙のとおり				

領収証等添付欄

※領収証は重ならないように添付すること。

領 収 証

平成 30 年 11 月 30 日

No 078545

自 民 ク ラ ブ 殿

金額	千	百	十	万	千	百	十	円
		7	3	8	8	5	4	0

但し

上記金額正に受領致しました

- 新富観光バス
- 海外・国内旅行
- 損保代理店

新富観光サービス株式会社

本社 富山市上野322 アピア店 富山市津元町1-1
 〒939-8195 ☎(076)428-5544 〒930-0010 ☎(076)476-23
 バスセンター 富山市上野322 魚津店 魚津市利木1-10
 〒939-8195 ☎(076)429-8448 〒937-0046 オセルビル2階
 ☎(0765)24-7110

担当者印



現金 7388540

現金	7	3	8	8	5	4	0
----	---	---	---	---	---	---	---

受注No 6028413

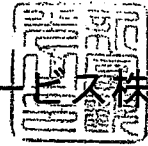
社印及び取扱者印なきもの又は金額訂正は無効です

3×50×300

- ※ 備考欄には、支出金額を按分率で算出した場合等の根拠を記入すること。
- ※ 領収証添付欄には、領収証及び金額の内容を証する書類を添付すること。

〒

新富観光サービス株式会社



自民クラブ 様

本 社 〒939-8195 富山市上野322 Tel (076) 428-5544
 パスセンター 〒939-8195 富山市上野322 Tel (076) 429-8448
 アピア店 〒930-0010 富山市稲荷元町2-11-1 Tel (076) 445-3223
 魚津店 〒937-0046 魚津市上村木1-1-10 Tel (0765) 24-7110
 オセルビル2階

受注番号	担 当
6028413	久野木 和美

毎度ありがとうございます。
 下記の通りご請求申し上げます。

旅行実施日	ご利用額	ご入金額
2018/11/06	388,540	
2018/11/08		

今回ご請求額
388,540

■商品名・摘要	■数量	■単価	■金額
宿泊費 (11/6 ルートイン鳥栖駅前)	6	8,000	48,000
ツアー費 (11/7 ベッセルイン博多中洲+往復飛行機)	6	50,500	303,000
レンタカー代	1	34,300	34,300
企画手配取扱料 (保険料含む)	6	540	3,240

ご利用合計額	388,540
--------	---------

取引銀行 北陸銀行越前町支店 (普)1104610
 富山第一銀行富山南センター支店 (当) 014442
 富山信用金庫大泉支店 (当) 002586
 三井住友銀行 富山支店 (普)0458570

※お支払いは 月 日までをお願い申し上げます。
 尚、振込手数料はお客様ご負担にてお願い申し上げます。

口座名 新富観光サービス株式会社

朝日町議会 自民クラブ視察研修行程表

平成30年11月6日(火) ～ 11月8日(木)

	月日(曜)	行 程					
1	11/6 (火)	朝日町役場	——	朝日IC	===	富山IC	——
		-- 富山空港	+++	羽田空港	+++	長崎空港	——
		-- 昼食(大村市)	——	15:00~16:30 大村市役所 視察研修	——	大村IC	==
		== 鳥栖IC	——	鳥栖市内(泊)			
2	11/7 (水)	ホテル	——	鳥栖IC	===	みやま柳川IC	——
		——	10:00~11:30 みやま市役所 視察研修	——	昼食(みやま市)	——	13:30~15:00 柳川市役所 視察研修
		——	みやま柳川IC	===	福岡IC	——	福岡市内(泊)
3	11/8 (木)	ホテル	——	千代IC	===	佐賀大和IC	——
		——	10:00~11:30 佐賀市下水浄化 センター 視察研修	——	昼食(佐賀市)	——	佐賀市内見学
		——	佐賀空港	+++	羽田空港	+++	富山空港
		——	富山IC	===	朝日IC	——	朝日町役場

レンタカー利用

+++ : 飛行機

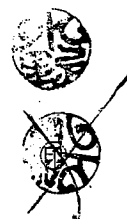
=== : 高速道路

会派出張報告書

平成30年11月26日

朝日町議会議員 加藤好通 殿

会派名 自民クラブ
代表者 水野 仁二



会派出張を終了したから、以下のとおり報告します。

出張先	長崎県大村市 玖島町目25番地 大村市産業振興部 農林水産振興課
期間	平成30年11月6日 ~ 平成30年11月6日
参加者	加藤、西岡、寺西、石原、大久保、水野
内容 (調査・研修等の目的・概要・内容・調査結果等)	高取直の農業感アサケト奥地結果に於て 農業者の減少や高齢化、担い手不足などきびしい状況が 続いている今日、高取直の考え方をアサケトアサケト 思う。当財も農業者宿泊研修施設予定だが 持続可能な農業を実現し安全安心な農産物を提供し 担い手不足の解消や耕作放棄地の解決に取組むことが 良いと願う
備考	大村市 産業振興部 部長 高取和也 農林水産振興課 部長 山田亮哉 課長 下玉利輝幸

※当日配布資料など調査・研修等の内容がわかる資料などを添付すること。

会派出張報告書

平成 年 月 日

岡山県議会議員

職

会派名
代表者

水野仁士 印

会派出張を終了したから、以下のとおり報告します。

出 張 先	福岡県柳井市評議高所小川5番地
期 間	平成30年11月7日 ~ 平成30年11月7日
参 加 者	加藤西岡 寺西 大久保 石原 小川
内 容 (調査・研修等の目的・概要・内容・調査結果等)	<p>先達の雇用直エネルギー事業について エネルギーの地産地消都市を掲げた初の自治体小売電力会社 を展開し電気エネルギーの地産地消を核に地域経済 の活性化と市民サービスの充実を図り自立した自治を目指さ うとするもの。市有地を売却してメカソーラを稼働させた 当町でも、跡地を再利用できるか(水田、小まほら施設)</p>
備 考	<p>議会事務局 倉本 馬場 洋輝 エネルギー政策課 古田 稔</p>

会派出張報告書

平成 年 月 日

町議会議員

職

会派名

代表者

水野仁士

印

会派出張を終了したから、以下のとおり報告します。

出張先	福岡県柳川市本町の香地 / 産業経済部 観光課
期間	平成30年11月7日 ~ 平成30年11月7日
参加者	町長 西岡 幸西 大久保 石原 小野
内容 (調査・研修等の目的・概要・内容・調査結果等)	<p>観光振興対策事業について やさしい日本語シリーズ事について 2017年には外国人観光客は24万5千人以上となりやさしい日本語のもてなしを、2015年初に取り組む外国人も日本語をしゃべることが出来る事へ、だからやさしい日本語のもてなしが今後の誘入客かふとと考えていける事であった 当町もやってみればと思う</p>
備 考	<p>議会事務局 局長 梅見 孝則 産業部 観光課 課長 松森 清世 おもてなし推進係長 大塚 将徳 " 係 久保 裕子</p>

九州3県の行政視察研修報告

朝日町議会自民クラブ 西岡良則

朝日町議会自民クラブ6名は、平成30年度政務活動費を活用させていただき、11月6日から8日までの3日間にわたり長崎県大村市、福岡県みやま市と柳川市、佐賀県佐賀市において行政視察研修を行ってまいりました。

視察の内容は長崎県大村市では大村市内高校生の「農業感」アンケート調査について及び大村市農業基本計画について、福岡県みやま市ではエネルギーの地産地消に向けた活動について、柳川市ではインバウンド対策としてのやさしい日本語ツーリズム事業についてを、また、佐賀県佐賀市ではバイオマス産業都市さがの取り組みについて研修をしてまいりましたので報告をいたします。

【11月6日長崎県大村市 産業振興部農林水産振興課】

視察内容 高校生の「農業感」アンケート調査結果について
大村市農業基本計画について

高校生の「農業感」アンケート調査の目的は、近年、農業を職業として選択し新たに大村市農業の担い手として就農する若者が不足している現状にある。高校生が「農業」に対してどんなイメージを持っているのか、また「農業」を職業として選択するために、どのような支援策が必要とされているのかを調査し、今後の農業の担い手確保・育成の施策に反映させることをねらいとするものであります。

調査の結果 ①農業のイメージとしては、設備投資にかなり費用がかかりそうや土地の関係で農家でないと農業の選択はむづかしい、収入が不安定、農業経験や技術がかなり必要という意見が上位であり、②農業をする要件としては、サラリーマン並みの収入がある、初期投資に対して負担が軽くなる支援がある、サラリーマン並みの休日がある。などがあげられておりました。

また、農業に対する関心度は、農業系の高校生の8割、市内の高校生でも約6割が関心を持っており、特に女子や農業体験のある生徒が、農業に関心や魅力を感じていることに驚かされました。朝日町においてもこうしたアンケート調査の結果を活用し、農業の担い手確保・育成に必要な施策に取り組めるのではないのかと改めて思ってきたところであります。

大村市の農業基本計画は平成25年3月に制定され、平成30年3月に見直しがなされております。

計画策定の趣旨は、「ともに支え合う食と健康と活力ある農業」を目指し、農業者の高齢化や若年層の減少、耕作放棄地の増加のほか、先行きの不透明なTPPやEPA等の影響など、農業を取り巻く環境は大変厳しいものがあります。こうした状況を踏まえ、農業の持続的な発展や豊かで住みよい地域社会の実現等を図るため策定されました。

no2

農業基本計画では、農業の現状と課題、基本目標及び政策体系、推進体制と数値目標が掲げられており、非常に見やすくわかりやすい内容であり、朝日町でも農業者の高齢化や後継者不足という同じような問題を抱えている中、農業基本計画の策定を検討してもよいのではないかと思ってきましたところであります。

【11月7日福岡県みやま市 環境経済部エネルギー政策課】
視察内容 エネルギーの地産地消に向けた活動について

11月7日午前10時より、みやま市役所においてエネルギーの地産地消に向けた活動について視察をしてまいりました。

福岡県みやま市は、2015年3月に市が55%出資の第3セクターとして、みやまスマートエネルギー(株)を設立し、太陽光発電などによる電力を調達して公共施設や事業所、一般家庭に供給する、日本初の自治体小売り電力会社として注目を集めている市であります。みやま市が目指すのは「エネルギーの地産地消都市」であり、電気エネルギーの地域内循環を核に、地域経済の活性化と市民サービスの充実を図り、自立した自治体を目指すものであります。

平成13年に企業誘致用に造成してあった10haの市有地を利用して、5000kwのメガソーラーを稼働させたもので、「エネルギーの自給を核として持続可能なまちづくり」を目指すため、①再生可能エネルギーへの投資は、地域において持続可能な未来を次世代に残すための方策である。②新会社によって地域の雇用創出や地域経済の活性化が期待できる。③人口減少時代にあって、エネルギーの自給は新たな人口構造に見合った地域インフラ設計を可能にする。④新会社が収益を上げることで、高齢者、教育、家庭にとって必要な不可欠な公的サービスのための財源が確保できる。との理由から自治体として電力事業に参入したものであります。

また、循環のまち化を図るため、市では農水産物を使用した食品製造業が多いことから、地域産業と連携したバイオマス利活用を目指しており、本年12月にはバイオマス施設が本格稼働するとのことでありました。

【11月7日福岡県柳川市 産業経済部観光課】
視察内容 やさしい日本語ツーリズムについて

11月7日午後からは柳川市役所に視察先を移動し、インバウンド対策に向けたやさしい日本語ツーリズム事業について視察をしてまいりました。

柳川市は、福岡県の南部、筑後地方の南西部に位置し、古くから開拓、干拓された海面干拓地帯であり、緩やかな傾斜で有明海に向かって広がっています。有明海は、干満の差が最大6mにも達し、干潮時には広大な干潟が現れることで有名であります。先人の知恵と技術によって市全域に総延長930kmにも及ぶ掘割が網目のように巡る独特の水郷風景や歴史

no3

を偲ぶ文化遺産や貴重な動植物が生息する豊かな自然などが観光資源となっています。

柳川市の観光の特徴は、①あらゆる世代が訪れるが、50歳以上が約半数を占めている。②家族旅行客が6割以上である。③リピーターが多く、再来訪意識が高い。④春、秋季の観光客が多く、夏、冬季が少ないという季節的な変動が高い。⑤福岡都市圏からの日帰り観光地としての性格が強い。⑥観光目的が「川下り」「祭り・イベント」「食事」に限定され、滞留時間が短い。⑦外国人旅行者に「自然」「まち並み」「川下り」「食」に対する評価が高い。となっています。

そうした中、観光入込客数は昨年141万8千人と平成に入り最高を記録し、中でも外国人観光客が24万5千人で、韓国が48%、台湾が36%を占めています。こうした状況を踏まえ、平成27年5月に「おもてなし柳川市民会議」の事業として「やさしい日本語」プロジェクトとして正式提案がなされた。留学生に柳川観光を体験してもらい、観光施設におけるインバウンド対応の見学、留学生及び観光施設の従業員に対する聞き取り調査の実施し、外国人の多くは来日の際、多少日本語を勉強してきており「日本を訪れた際は日本語で会話をしたい」という希望を持っていることが分かった。

平成28年2月にやさしい日本語ツーリズム事業を地方創生加速化交付金申請をし、3月に採択され事業が進められている。事業では、「やさしい日本語」講演会が開催され、「やさしい日本語」と普通の日本語の違い、外国人に対して「やさしい日本語」を話すコツ、「やさしい日本語」を話す場合に気を付ける点など学んでいるとのことであります。

朝日町でも、舟川の桜並木の観光に多くの外国人が訪れており大変参考になる有意義な視察でありました。

【11月8日佐賀県佐賀市 佐賀市下水道浄化センター】

視察内容 バイオガスマイクロコージェネレーションについて

下水汚泥堆肥化事業について

下水道革新的技術実証事業B-DASHプロジェクトについて

最終日の8日には佐賀市下水道浄化センターを視察し、バイオガスマイクロコージェネレーションや下水汚泥堆肥化事業、下水道革新的技術実証事業B-DASHプロジェクトについて研修をしてまいりました。

下水道浄化センターでは消化ガスコージェネレーションを16台導入し、余剰消化ガス4,800m³を発電と温水に変換し、浄化センター内で有効利用することにより年間5000万円の電力経費が削減されていることでもあります。設備投資額が約6億円ということでもありますので6年間で元がとれるということでもあります。また、下水汚泥堆肥化事業は、下水道浄化センターで発生する汚泥を、循環型社会の構築による環境負荷の低減を図り、処理費用の削減を目的として、堆肥化による肥料・緑農地利用が有効と実施された事業です。「YM菌による超高温好気性発酵技術」を採用し一日10トン処理をしているとのことであり、肥料の利用者からは農作物が良く育つことから「宝の肥料」と言われ高く評価されるとともに、資源の循環が実

no4

現しているとのことであります。

下水道革新的技術実証事業は、バイオガス中のCO₂の分離・回収と微細藻類培養への利用技術実証研究であります。この事業は国土交通省の補助を受け、下水道から発生する「未利用資源」に着目し、回収利用することで環境負荷の低減と高付加価値資源の生産を実証するもので、今後大いに期待ができる研究事業であります。

自民クラブ 行政視察研修報告書 朝日町議会議員 加藤 好進

1. 行政視察日程等 平成30年11月6日～11月8日（3日間）
 - (1) 視察先 第1日 11月6日 長崎県大村市議会（午後）
第2日 11月7日 福岡県みやま市議会（午前）
11月7日 福岡県柳川市議会（午後）
第3日 11月8日 佐賀県佐賀市議会（午前）
 - (2) 視察目的 長崎県大村市議会 「高校生の農業感」について
福岡県みやま市議会 「先進的な再生可能エネルギー事業」について
福岡県柳川市議会 「観光振興対策事業」について
佐賀県佐賀市議会 「バイオマスを利用した再生可能エネルギー」について

2. 所 感

第1日 長崎県大村市議会

日本の農業は、農業者の減少や高齢化、担い手不足など厳しい状況にある中、農業基本計画を策定し、この計画の将来像として「ともに支え合う食と健康と活力ある農業を目指し取り組んでいる。

その一環として、若者の新規就農や後継者育成に市内の公立・私立高校生を対象に「農業感」アンケートを実施するなど、農業の現状と課題を分析。農業所得の向上、農業者の育成、農地の保全と有効活用に取り組み、持続可能な農業を実現し安全・安心な農産物を提供している。

当町においても、基幹産業でもある農業に民間活力も重要であるが、行政として農業振興に向けた取り組みを更に推進していく必要がある。

第2日 福岡県みやま市議会

みやま市は2007年、瀬高・山川・高田の3町が合併して誕生した。筑豊平野が広がり南に有明海を望む温暖な地域で、年間日照時間は全国平均を1割ほど上回り、太陽光の恵みを生かした、住宅用太陽光発電システムを設置する家庭へ2010年度より補助金交付をスタート。東日本大震災を受けて再生可能エネルギーの普及への取り組みが一層強化される中、2013年塩漬けの土地（10ha）を活用し、メガソーラー施設を設置（5,000kW）第3セクターとしてみやまスマートエネルギー（株）を設立し、公共施設、事業所、一般家庭に供給し、日本初の自治体小売り電力会社として注目を集めている。さらに、農業・水産業が盛んであり、地域内の農水産を使用した食品製造業の地域産業と連携したバイオマス発電も本格稼働されるが、分別回収、保管、運搬等考えるとランニングコストが懸念される。

現在当町においては、国の「再生可能エネルギー」交付金を活用して太陽光発電による地産地消型のまちづくり計画に取り組んでいるが、併せて水力や風力発電による地域資源を活用したまちづくり研究も急ぐ必要があると思う。

福岡県柳川市議会

昭和50年3月、山陽新幹線 新大阪～博多間全線開業。平成23年3月九州新幹線 博多～鹿児島中央間全線開業以来、柳川市観光に大きく影響をあたえ同時に「観光まちづくり推進委員会を設置」する。平成23年度、26年度年次目標を短期・中期・長期を設定し達成度評価、チェック・アクション、次期に優先すべき施策・事業戦略を展開している。

- ①観光入込客数 22年115万人、25年130万人、30年150万人
- ②外国人観光客数 22年 10万人、25年 14万人、30年 18万人
- ③観光消費額 22年 49億円、25年58,5億円、30年 75億円

と数値目標を設定し、国内マーケット、海外マーケット、テーマごとにターゲットの設定し国、九州、福岡県、福岡市と連携している。

近年では、台湾からのインバウンド推進事業に市民と観光客双方に分かりやすいやり方として、「やさしい日本語ツーリズム」事業として、リーダー養成講座では台湾から地元高校に留学している生徒を相手にその成果を試すなど、大学との人事交流をも展開するなど急激に増加している台湾からの観光客に対応している。その成果として持続可能な地域づくり（交流人口増、定住人口維持増加）、集客交流による地域経済波及している。

あさひ舟川春の四重奏や朝日ヒスイ海岸やオートキャンプ場の観光地にも年々外国人観光客が増加傾向にあり、おもてなしの心とともに朝日町での観光消費額が増加する仕掛けが喫緊の課題である。

第3日 佐賀県佐賀市議会

公共水道事業は、旧佐賀市において昭和46年度に事業認可を取得し、事業の経済性、効率性の観点から、隣接する旧大和町、旧諸富町、旧川副町の公共下水道を平成12年度、14年度、19年度に受け入れ現在に至っている。

全国の下水浄化施設2,000施設の内30施設が栄養塩を調整して放流する1施設にあたる。

平成19年～放流水の季節運転を開始。季節ごとに処理水を調整することで有明海の家業養殖業に好影響を与えている。また、脱水汚泥は、平成21年から肥料化事業としてYM菌+アミノ酸で90°以上の超高温発酵を繰り返し、45日で肥料となるが、さらに30日間寝かせて完熟させ農家等に安価で販売し、作物経費の節減と収量アップにつながるとともに良質の農産物を消費者に提供している。再生可能エネルギーについては、平成23年～メタン発酵によるバイオガスで自家発電を開始電力自給率約40%となっている。

「バイオマス産業都市さが」には年間100組は視察研修に訪れており注目度は高いと思う。

当町にも下水処理場があるが、今後再生可能エネルギーの活用と考えると多額の費用を要し困難と思う。

九州行政視察研修報告書

朝日町議会自民クラブ 石原孝之

1. 行政視察行程 平成30年11月6日(火)～11月8日(木) 3日間
2. 視察先/視察目的
 - ・1日目 11月6日(午後) 長崎県大村市産業振興部農林水産振興課
「高校生の農業感」について
 - ・2日目 11月7日(午前) 福岡県みやま市環境経済部エネルギー政策課
「先進的な再生可能エネルギー」について
11月7日(午後) 福岡県柳川市議会
「観光振興対策事業」について
 - ・3日目 11月8日(午前) 佐賀県佐賀市議会
「バイオマスを利用した再生可能エネルギー」について

3. 視察内容

1日目 長崎県大村市産業振興部農林水産振興課 大村市内の高校生の「農業感」アンケート結果について

近年、農業を職業として選択し新たに大村市農業の担い手として就農する若者も増えてきているが、まだまだ不足しているのが現状である。高校生が農業に対してどんなイメージを持っているのか、また農業を職業として選択するために、どのような支援策を必要と思っているのか等の率直な意見を調査し、今後の大村市農業の担い手確保・育成の施策に反映させることをねらいとして、市内公立・私立高校4校の3年生343名と諫早農業高校の3年生農業系3クラス118名、合計461名に行ったアンケート調査の結果報告、説明がありました。

- ①農業のイメージとしては、
 - ・設備投資にかなりの費用がかかりそう。
 - ・土地の関係で農家でないと農業の選択は難しい。
 - ・収入が不安定。
 - ・農業経験や技術がかなり必要。
- ②農業を選択する必要性としては、
 - ・サラリーマン並みの収入がある。
 - ・初期投資に対して負担が軽くなる支援がある。
 - ・サラリーマン並みの休日がある。
- ③農業に対する関心度では、
 - ・農業系高校生では8割が関心を持っている。
 - ・大村市内高校生の6割が関心を持っている。
 - ・女子や農業体験者がある生徒が農業に関心や魅力を高く感じている。
- ④関心がある理由として、
 - ・農業系では、農業はやり次第では儲かりそう。
 - ・これからの職業として有望、経営者としてやりがいがある。

アンケート結果から、高校生が農業に対し関心をもっており、現状の課題や将来への期待や不安も分析していると思われます。

朝日町においても、これからの農業の担い手確保や育成に必要な取り組みを行っていく必要があると感じたところです。

2日目 福岡県みやま市 環境経済部 エネルギー政策課 (午前) みやま市のエネルギーの地産地消に向けた活動について

福岡県みやま市は、年間日照時間2,066時間、太陽光発電施設普及率10.8%(全国6.6%)の市であります。平成13年に約16年間塩漬けの10ヘクタールの土地に5,000KWのメガソーラー施設を設置し、第3セクターとして「みやまスマートエネルギー株式会社」を設立しました。

太陽光発電などによる電力にて公共施設や事業所、一般家庭に供給する、日本初の自治体小売電力会社として注目を集めている。また農業・水産業が盛んであり、地域内の水産物を使用した食品製造業が多いことから、地域産業と連携したバイオマス利活用を目指しており、2018年12月には、バイオマス施設が本格稼働の予定であるとの事でした。

2日目 福岡県柳川市 産業経済部観光課 (午後) やさしい日本語ツーリズム事業について

福岡県柳川市は、福岡県南部、筑後平野の西南端で古くから開拓や干拓された土地で、干拓地が魚のうろこのように広がる海面干拓地帯。標高は0~6メートルの平坦な低地でもあります。

柳川市の観光動態は、

年度	入込客数	観光消費額	外国人観光客	国別
1989年(平成元年)	98万人	43億5千万円		
2009年(平成21年)	115万人	47億8千万円	1万人	
2017年(平成29年)	141万人	67億6千万円	24万5千人	韓国48% 台湾36%

柳川市の観光入込数は、平成29年度に平成に入って最高を記録。外国人観光客も増加しており、20万人以上、そのうち韓国が48%、台湾36%、香港3%となっている。

この状況を踏まえ、平成27年5月に「やさしい日本語」プロジェクトとして正式提案。事業化のむけて、「おもてなし柳川市民会議」の事業として位置づける。

留学生に柳川観光を体験してもらいインバウンド対応の見学、留学生及び観光施設の従業員に聞き取り調査を実施。その結果、「日本に旅行に訪れた際は日本語で会話をしたい」との希望をもっている事実がわかった。平成28年8月に主要観光施設従事者を集めキックオフミーティングを開催。

10月には、「やさしい日本語」と普通の日本語の違い、外国人に対して「やさしい日本語」を話すコツや気をつける点などを学ぶ講演会を実施。

11月には、柳川市の「やさしい日本語ツーリズム」について説明とプレゼンテーションを行うため、台湾を訪問。その後「やさしい日本語」リーダー養成講座を開催し61名に終了証が渡される。

12月には、日本語を勉強している台湾の男女6名に、柳川を訪れていただき、リーダー養成講座受講者の「やさしい日本語」によるおもてなしを検証が行われました。川下りや白秋生家などの観光地を巡りながら会話を実践。相手に合わせた「やさしい日本語」の会話で、とても満足した様子だったとのことでした。

無理に外国語を話すのではなく、日本語を話す。そして「やさしい日本語」を話すことが大事だと。

3日目 佐賀県佐賀市 佐賀市下水道浄化センター バイオガスマイクロコージェネレーションについて 下水汚泥堆肥化事業について 下水道革新的技術実証事業B-DASHプロジェクトについて

佐賀県佐賀市の公共下水道事業は、旧佐賀市において昭和46年度に事業認可取得し、事業の経済性、効率性の観点から、隣接する旧大和町、旧諸富町、旧川副町の公共下水道を平成12年度、平成14年度、平成19年度に受け入れて現在に至っています。

施設概要としては、(平成28年度実績)

・敷地面積	90, 221m ²	(日平均)
・流入下水量	53, 230m ³	(日平均)
・消化ガス発生量	6, 209m ³	(日平均)
・対象汚泥投入量	256m ³	(日平均)
・消化ガス発電量	3, 445, 167KWh	(年間)
・電力自給率	約 40%	
・肥料出荷量	1, 600t	(年間)

送られてきた汚水は、土砂やゴミを取り除き、浄化された上澄水を消毒し処理をして放流します。

この処理水を「宝の水」として海苔養殖やスポン養殖など地域に貢献している。季節ごとに栄養塩を調整(季別運転)をして放流を行っている。平成19年からの季別運転で海苔養殖に好影響と評判。海苔養殖業者との勉強会も毎年開催している。海苔の売上が14年連続日本一となっている。

また、汚泥濃縮設備では、汚泥の水分を減らし濃度を高め、消化槽にて40度に温め有機物を分解。その際に発生する消化ガスを脱硫塔にて有害な硫化水素取り除きガスホルダーに消化ガスを貯留。平成23年から消化ガスマイクロコージェネレーション装置により余剰ガス4, 800m³/日を発電+温水に変換し浄化センター内で有効活用を行っている。

また、下水汚泥堆肥化事業として浄化センター内にて発生する汚泥を堆肥化による、「肥料」「緑農地利用」が有効とされ実施されています。汚泥堆肥化施設においてYM菌による超高温好気性発酵技術を採用し1日10トン进行处理している。さらさらとした土のような肥料は「宝の肥料」として利用者からは、農薬や科学肥料に頼る事が無くなり経費の削減につながった。生産量も大幅にアップした。と高く評価されている。宝の肥料は10kg:20円にて販売が行われており、平成23年の販売開始から、毎年完売しており、全国的にも完売するのは珍しいそうです。

下水道革新的技術実証事業B-DASHプロジェクトは、バイオガス中のCO₂分離・回収と微細藻類培養への利用技術実証研究です。

下水処理場から発生する「未利用資源」に着目し、回収利用することで環境負荷の低減と高付加価値資源の生産を実証することです。

「汚泥可溶化技術」・「CO₂分離・回収技術」・「微細藻類培養技術」この3つの技術をもって研究することで今後の実用化に向けて進められることを期待する事業です。

自民クラブ 行政視察研修報告書

朝日町議会議員 寺西 泉

1 行政視察の日程及び視察内容 平成30年11月6日(火)～8日(木)

- (1) 11月6日 午後 長崎県大村市議会、産業振興部農林水産振興課
大村市内高校生に実施した「農業感」アンケート調査
大村市農業基本計画
- (2) 11月7日 午前 福岡県みやま市議会、環境経済部エネルギー政策課
先進的な再生可能エネルギー
- (3) 11月7日 午後 福岡県柳川市議会、産業経済部観光課
やさしい日本語プロジェクトを通じた観光振興
- (4) 11月8日 午前 佐賀県佐賀市議会、佐賀市下水道浄化センター
バイオマスを利用した再生可能エネルギー

2 所感

(1) 長崎県大村市議会、産業振興部農林水産振興課

近年、農業を職業として選択し、新たに大村市農業の担い手として就農する若者が増えつつあるが、まだまだ不足しているのが現状である。そこで、大村市内公立・私立高校4校と諫早農業高校の3年生461名に対して「農業感」アンケートをとり、「農業」に対するイメージや「農業」を職業として選択するために、どのような支援が必要か等について調査した。その結果、農業のイメージとしては、①設備投資に多額の費用がかかりそう、②土地の関係で農家でないと農業の選択は難しい、③収入が不安定、④農業経験や技術がかなり必要という意見が上位であった。また、農業を選択する要件としては、①サラリーマン並みの収入がある、②初期投資に対して負担軽減の支援がある、③サラリーマン並みの休日があるという意見が上位であった。さらに「農業」に対して、農業系高校生の約8割、大村市内高校生の約6割の生徒が関心を持つ

ており、特に女子や農業体験のある生徒が、農業に関心・魅力を高く感じていることが判明した。これらのアンケート結果を踏まえ、平成 25 年に策定した「大村市農業基本計画」を平成 30 年 3 月に見直し、今後の農業振興に活かそうとするものである。

朝日町においても農業者の高齢化や後継者不足という課題を抱えていることから、小中学生に対して同様のアンケートを実施し、「農業振興計画」の策定を検討する必要がある。

(2) 福岡県みやま市議会、環境経済部エネルギー政策課

平成 25 年に企業誘致のために取得し約 16 年間塩漬けであった 10ha の市有地を活用し、5000kw のメガソーラーを稼働させた。その後、「エネルギー地産地消のまち」を目指し、平成 27 年 3 月に第 3 セクター「みやまスマートエネルギー株式会社」を設立し、公共施設、事業所、一般家庭に電力を供給し、日本初の自治体小売り電力会社として注目を浴びている。

朝日町においても、地産地消型の再生可能エネルギー施策の推進に取り組んでいるところであり、大いに参考になった。

(3) 福岡県柳川市議会、産業経済部観光課

観光資源が豊かな柳川市では、近年、観光入込客数が飛躍的に増えており、特に外国人観光客の増加が顕著である。これらのことを踏まえ、平成 27 年 5 月に「おもてなし柳川市民会議」の事業として「やさしい日本語」プロジェクトが提案された。留学生に柳川観光を体験してもらい、観光施設に対するインバウンド対応の見学、留学生及び観光施設従業員に対する聞き取り調査や Web アンケート等の結果から、外国人の多くは「日本を訪れた際、日本語で会話したい」という希望をもっていることが判明した。そこで、平成 28 年 3 月に地方創生加速化交付金を活用し「やさしい日本語ツーリズム事業」に着手した。迎え入れる市民や観光施設従業員が「やさしい日本語」と「普通の日本語」の違い、外国人に対して「やさしい日本語」を話すコツ、「やさしい日本語」を話す場合に気を付ける点などについての学習に取り組むことで、外国

人観光客に対して、外国語で会話しなければいけないという重圧から解き放され、気軽に「やさしい日本語」での対応をするようになった。

朝日町でも、インバウンド推進施策が喫緊の課題であり、「やさしい日本語」について取り入れることを検討する必要がある。

(4) 佐賀県佐賀市議会、佐賀市下水道浄化センター

佐賀市下水道浄化センターでは、バイオガスマイクロコージェネレーション 400kw を導入し、余剰消化ガス 4800 m³を発電と温水に変換している。このことにより、年間 5000 万円の電力経費が削減されている。また、脱水汚泥を循環型社会構築による環境負荷の低減及び処理費用の縮減を目的として、YM 菌とアミノ酸を用いて超高温発酵を繰り返すことで肥料にして農家に販売している。「バイオマス産業都市さが」として、全国から視察研修に訪れる自治体が多く、注目度が高い。

朝日町にも下水処理施設があり、再生可能エネルギーとしての活用の検討も必要と思われるが、費用対効果を考慮した場合、課題が多いと考える。

自民クラブ 行政視察研修 報告書

平成 30 年 11 月 6 日

長崎県 大村市

日本国内における農業の環境は依然として厳しい状況が続いており、国全体として生産者の高齢化と減少、担い手となると世代の不足など持続に影響する問題が深刻である。そのような中で長崎県大村市においては市内の高校生を対象とした「農業感」についてのアンケートを実施し、将来を担っていく世代の率直な思いを分析して改善に努めていく努力をしておられます。市として農業基本計画を策定し、PDCA サイクルを活用した検証と見直しを常にローリングさせながら農業を中心とした一次産業の将来的な発展に尽力している姿勢は朝日町においても是非、実践していくべきであると感じました。当町における基幹産業である一次産業は絶対に衰退させてはいけない分野なので、今後とも持続可能な産業として議論と実践を達成していく必要があります。

平成 30 年 11 月 7 日

福岡県 みやま市

みやま市におきましては再生可能エネルギーを活用した地産地消の先進事業視察であり、この地域は築豊平野に広がる 3 町合併の街であります。豊富な太陽光の恵みをフルに活かし、これまで企業誘致のために用意しておいた約 10 ヘクタールの土地にメガソーラー施設を設置し第 3 セクター方式による法人を設立して公共施設から一般家庭にまで電力を供給しています。これによる地域の活性化と市民へのサービスが充実され、魅力ある自治体として運営されていると感じました。これは朝日町においても将来に明るい希望がもてる事業の一つになるのではないかと考えられ、行政として前向きに議論していく必要があります。今後はこのような先進事例の自治体について勉強しながら一歩ずつ進めていきたいと考えます。

平成 30 年 11 月 7 日

福岡県 柳川市

柳川市におきましては観光振興における先進事例の視察であります。昭和 50 年に山陽新幹線による新大阪から博多間の開業、平成 23 年には九州新幹線による博多から鹿児島間の開業と交通インフラの整備による好機を活かして柳川市観光戦略を展開しております。観光入客数は平成 30 年には 150 万人、外国人観光客は平成 30 年で 18 万人と目標を設定して国や県と連携しており、観光消費による経済発展に尽力している市であります。特に外国人観光客に対する会話の簡素化を促進するために、日本語での表現を最小で最大限わかりやすく伝えるための「やさしい日本語ツーリズム」を事業展開しており、相手の気持ちになったおもてなしの心による対応が大変好評になっています。やはり観光客にはもう一度訪れたいと思ってもらうような心遣いが最も重要であり、朝日町においても同様の対応を浸透させながら、新たなサービスの知恵を出していくべきだなと感じました。「もう一度訪れたい町」のモデルとなるように努力していきたいです。

平成 30 年 11 月 8 日

佐賀県 佐賀市

佐賀市におきましては、污泥バイオマスを利用した再生可能エネルギーと肥料化事業の合成活用についてであります。佐賀市下水道浄化センターではバイオガスマイクロジェネレーションや污泥堆肥化事業を展開しており、循環型社会の実践に努めておられます。バイオガスについては浄化センター内利用の電力を年間 5,000 万円の経費削減を生みだし、総投資額 6 億円に対し 12 年間で元本回収が可能な計画になっています。また、堆肥肥料化事業は最終処分費用をかけることなく循環型の最終形態として、農地の地力増進の大きく貢献しております。農業生産者からは安価で高品質であるという高評価を得ており、宝の肥料となって地域に大きく貢献しています。朝日町においても農地維持と地力増進というテーマは同じであり、エネルギーと農業の循環を有効に利用していくことが本当に重要になるわけで、その環境をつくっていくためにも関係者と行政が同じ将来像を描きながら建設的な議論と具現化にむけた行動が絶対に必要であると感じております。これからも勉強と努力を惜しまず貢献してまいります。